



川西まほろば会は、国政・県政への要望を取りまとめ提出しました

国への要望

●適格請求書等保存方式(インボイス制度)導入に係る
シルバー人材センターへの仕入税額控除の継続適用について

国と県への要望

●特別な支援を要する児童生徒等の支援について

- ・特別な配慮を要する児童生徒の通級による指導体制を充実させるため、
学校生活支援教員の定数確保について要望
- ・医療的ケアの必要な児童生徒のため、支援体制及び財政支援措置の更なる充実について要望
- ・加配教員による専任の**特別支援教育コーディネーターの全校への配置**を要望
- ・医療的ケア児の**保育受け入れ体制整備**に対し、恒常的な財政支援措置を要望

●国民健康保険制度の財政基盤の強化について

県への要望

●阪神・淡路大震災災害援護資金貸付金の償還期限の延長及び
未償還額に対する市の財政負担軽減について



川西まほろば会 所属議員紹介

まほろばとは、「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味の古語です。
私たちが住む川西市を、より素晴らしいまちにしたい、住みやすいまちにしたいという思いを込めて交渉団体会派名を「川西まほろば会」といたしました。



にしやま ひろとも
西山 博大 5期目
・議会運営委員
・建設常任委員
・市立病院整備調査特別委員長
・善意銀行運営委員会委員
会派 幹事長



くぼ よしたか
久保 義孝 8期目
・建設常任委員
・中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員
市議会 議長



あきた しゅういち
秋田 修一 3期目
・総務生活常任委員
・飛行場対策周辺整備調査特別委員
・広報委員長
・人権施策審議会委員



まつくま のりふみ
松隈 紀文 1期目
・議会運営委員
・厚生文教常任委員
・中心市街地・新名神周辺整備調査特別副委員長
・都市計画審議会委員



いそべ ゆうこ
磯部 裕子 1期目
・総務生活常任委員長
・市立病院整備調査特別委員
・猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員
・健康づくり推進協議会委員

お問い合わせ

川西まほろば会 議員控室

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12-1 川西市役所6階 TEL:072-740-1305
e-mail: k.mahoroba@ipalette.jp URL: https://kawanishimahoroba.jimdofree.com



川西まほろば会



令和4年6月定例議会 川西市病院事業の使用に関する条例の一部改正について

分娩費用の増額をするべきか 条例改正で、分娩費用の合計額が平均で約8万円引き上げ

川西まほろば会は増額の議案に賛成

その理由1

分娩費用(異常分娩を除く、産科医療補償制度掛金、その他の費用等を含む、出産費用の合計額)について、市が運営していた旧市民病院では約43万円で設定していたが、赤字前提の分娩費用の設定で長年にわたって改定されずにいた。

その理由2

令和4年9月1日以降、指定管理者の運営による総合医療センターでの分娩費用の設定については、赤字前提の費用設定は不適切であり、赤字にならないぎりぎりの費用設定(約51万円)とした。



【参考】全国の分娩費用は… 全国の平均……………52万4,182円
全国の公的病院の平均……51万1,444円

※第138回社会保障審議会医療保険部会資料より

川西まほろば会は意見書を発議

しかしながら、少子化が深刻化する中、出産に際して妊婦負担があることは問題であり、分娩費用は**すべて国費で賄うべきと考え**川西まほろば会が意見書を発議、6月の議会で可決され、国に提出をしました。

意見書の要望内容

**国庫の負担により、出産費用を賄える水準に
出産育児一時金を引き上げること。**

ポイントは「**国庫の負担により**」という部分です。この前文により、出産費用を賄える水準に引き上げる際に、被保険者の負担が上がることを防ぎます。

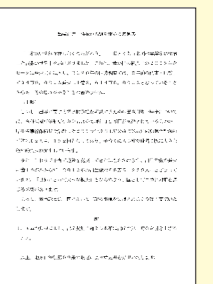
国の動き

2023年度から出産育児一時金の大幅な増額を検討中。

市の動き

普通分娩に限定して増額分の約半額に当たる4万円の助成を令和5年3月まで行えるよう、6月議会に補正予算を計上し、議会で可決。※令和5年4月以降についても、川西まほろば会では分娩費の助成を予算要望します。

議案の可決、市の補正予算計上での対応、国に対しての意見書の提出、国の出産育児一時金の大幅増額への検討、これらすべてが関連している案件です。



国に提出した意見書



令和4年10月16日(日)投開票の川西市議会議員選挙から 川西市は議員定数が 26人から24人になります。

西山 博大 幹事長



川西市議会では、本年10月に行われる市議会議員選挙から議員定数(議員の人数)は2人減り、24人となります。このための条例改正の議案は、川西まほろば会が素案を作成して各会派と調整を行い、賛同が得られた公明党、明日のかわにし3会派の幹事長連名で令和3年12月定例会市議会への提出に至ったもので、本会議では当会派幹事長の西山博大が提案者を代表して提案説明を行い、賛成多数により可決しました。

「議員定数」と「議員報酬(議員にとって実質的に給与に当たるもの)」の妥当性については、厳しい財政状況が続く各地方議会では常に議論の的となっており、本市においても同様ですが、今回我々が議員定数の削減を提案したのは、**議員報酬については直近の川西市特別職報酬等審議会(概ね4年ごとに市長が諮問)が当面据え置きと答申したこと**、また、阪神間で人口規模の近い伊丹市・宝塚市に比べて川西市は人口比による議員数が多く、**直近の選挙で早急に均衡を図る必要があると考えたこと**が主な理由です。

今回、我々は定数2人減を実現しましたが、今後もさらに自らが身を切る「議会改革」は必要と考えています。「議員定数」「議員報酬」のあり方を含めて議会内の議論を改めて活発化し、改革の実現に率先して取り組んでまいります。

26 → 24
議席 議席



賛否の状況

令和3年度
第6回定例会(12月)

川西市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について
次の一般選挙から議員定数を26人から24人に改める

賛:○ 否:×

市民クラブ「改革の風」			川西まほろば会			公明党			明日のかわにし			日本共産党議員団			無所属										
岡留美	福西勝	中井成郷	谷正充	津田加代子	西山博大	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	大矢根秀明	大崎淳正	麻田寿美	平岡謙	江見輝男	多和田桂子	田中麻未	坂口美佳	小山敏明	黒田美智	吉岡健次	北野紀子	吉富幸夫	中曾千鶴子	山下隆志	斯波康晴
○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○

※地方自治法の規定により、久保義孝議長は議員として議決に加わる権利を有していません。

かわにし市議会だより 236号より

一般質問

市の一般事務に対して、執行の状況や課題、将来の方針や政策的提言を質問

松隈 紀文 令和4年9月

川西市の基幹および地域内公共交通を担う、 路線バスの維持について



公共交通を取り巻く環境は、自動車への依存だけではなく、人口減少・少子高齢化やコロナ禍の影響により、利用者の減少とそれに対応した減便・廃止等が、全国的にも広がっています。通勤・通学利用者の減や運転士の不足、燃料費の高騰に加え、川西市特有の課題として朝夕の通勤・通学時間帯における逆方向の利用者が少ないという課題への取り組みについて質問しました。



【要望した事】

- 「自分たちで公共交通を守る」という市民意識の醸成は、公共交通が持続可能なものとするためには有効であり大切なことから、今一度、活性化するきっかけづくり
- 石道・舎羅林山における物流施設の就労者を、朝夕の通勤・通学時間帯における**逆方向の利用者増に繋げる検証**の検討
- 他市町における公共交通の取り組みを参考に、**市や事業者が施策の導入や検証をする仕組みづくり**



磯部 裕子 令和4年9月

川西市の未来に期待と夢を描けるまちづくりについて



令和4年秋以降に取り組む、第6次総合計画の基本構想策定や総合戦略案の検討を前に、3つの視点から川西市の強みや魅力を活かしたまちづくりを提案しました。

1. 川西市の魅力や文化・歴史的価値によるまちづくり

清和源氏発祥の地、**川西市としてのイメージ戦略や、様々な川西市の宝を活かして守るまちづくり、「日本一の里山」黒川地区の魅力を活かしたまちづくり**を提案。

- 清和源氏まつりの際には、のぼりに登場人物のイラストを、また、登場人物の解説をした絵巻物を懐古行列を見学する方々に準備を。
- 加茂遺跡は、AR(拡張現実)の技術を活用し、スマートフォンやタブレット端末を利用して、弥生時代の遺跡の情報を体験できるように。など



源満仲公が弓を持って馬に乗っている姿のモチーフを使ったイメージ戦略が始まっています!川西能勢口駅からキセラまでの標識に使われています。

2. 安心かつ健幸に暮らすことができるまちづくり

いくつになっても**住み慣れた地域で健幸に暮らせるための安心**につながる提案。

- 地域包括ケアシステムの要となる地域の人と人のつながりや福祉のネットワークの充実を。
- 総合体育館と市民温水プールを統合し、文化会館跡地にスポーツと健康の館を。など

川西市の地域包括ケアシステムについて、わかりやすく解説したハンドブックを作成中。病院、薬局、地域包括支援センター等に設置予定。

3. 活気に溢れるまちづくり

個性あふれる地域づくり、1次～6次産業のさらなる振興、若い世代のスタートアップを支援し、流入人口を増やすための提案。**ベッドタウンから職住近接のまち川西へ。**

- 第6次総合計画策定に際しての人口ビジョンについては、積極的な表現に。
- 地域分権の推進に際しては、地域担当職員の配置や活動拠点の在り方など一歩踏み込んだ施策を。など

農業や商工業、スタートアップなどへの支援、ポストコロナを見据えた事業展開が始まっています!